事業評価書目次(令和3年度)

[議会局]

[議会局]		
款項目	評価書番号	事 業 名
1-1-1	1	議員報酬・共済費
1-1-1	2	政務活動費
1-1-1	3	議会広報費
1-1-1	4	議会総務費
1-1-1	5	会議•委員会等運営費

令和2年度 事業名		1 款 1 項 1 目 議員報酬・	共済費	所管区局•課	議会局総務課	令和3年度 事業評価書 番号	1 - 1 - 1				
	実施根拠	法令等 ■ 法律 その他 □	■ 条例 □	規則 具体的 名称	地方自治法、地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律、 地方公務員等共済組合法 等						
事業概要	事業の目的 (事業開始の 経緯)	・議員報酬は、地方自治治費用弁償及び期末手当に ・議員共済給付金の公費 共済給付金の給付に要り大量の受給者が発生し、 公務員等共済組合法の一第167条はなおその効力を	ご関する条例」で定め 負担制度 開始年度 する費用については、 、共済財政が急激に ・部を改正する法律の	られている。 (昭和47年度) 制度創設当初から会 悪化したため、公費負)成立をもって廃止され	員の掛金を持って充てて 担制度が導入された。そ 1たが、同法第23条第15	きたが、昭和46年の紀 の後、地方議会議員年 夏において、地方公務	三一地方選挙によ 三金制度は、地方 員等共済組合法				
	具体的な 事業内容	議員報酬及び地方議会請			│		如束状似带。2				
		本事業は右記に該当す			■ 法令に基づく義務		部事務経費のみ				
		指標名(単位)	平成29年	度実績 平成3	0年度実績 令和:	元年度実績	和2年度実績				
事	達成指標		目標 実績 目標 実績								
		上記の指標で定量的な記 困難な理由	 安定が								
	予算額・ 執行額、 事業費の 推移	<u></u>	平成29:			和元年度	令和2年度				
業		現計予算額	1,691,31	2千円 1,691			,678,156千円				
実績		支出済額	1,696,25	8千円 1,694	1,554千円 1,65	8,666千円 1	,671,716千円				
視		繰越額	0千月	円 (千円	0千円	0千円				
		差▲引	△ 4,946	5千円 △ 3	,489千円 29,	,087千円	6,440千円				
		執行率(%)	1009	%	100%	98%	100%				
		人 一般職職員	0.6		* *	0.6人	0.6人				
		件 再任用職員	0.0		7 7	0.0人	0.0人				
		費 概算人件費	5, 275	千円 5,2	271千円 5,	271千円	5,294千円				
		総事業費	1, 701, 53			3,937千円 1	, 677, 010千円				
		増▲減	_	▲ 1	,708千円 ▲ 3	5,888千円	13,073千円				
事業評	本市が行う 必要性										
;価の視点に	事業目的に 対する 有効性										
よる点検	本事業の 効率性・ 類似性	法定事業のため、検証不可。									
• 検	市民等外部	□有 ■無									
証 •	意見を聴取 する仕組みと 反映状況	法定事業のため、実施して	ていない。								
評価	自己評価 及び 事業見直し の方向性	法令等に基づき、引き続き	き適正に執行する。								

	課長	係長	庶務 係
本資料は、公正・適正に作成しました。	濃野 誠	中村 航	西口 由梨奈

令和2年度 事業名		1 款 1 項 1 目 政務活動費	所管区局·課	議会局秘書』	議会局秘書広報課		1 - 1 - 1					
							番号	2				
	実施根拠	法令等 ■ 法律 ■ その他 □	■条例 □	規則 具体的 名称	地方自治法、	横浜市会	:政務活動費の交付	に関する条例				
事業概要	事業の目的 (事業開始の 経緯)											
1	具体的な 事業内容											
								部事務経費のみ				
		指標名(単位)	平成29年	及美領	80年度実績	节和元	年度実績 イ	計和2年度実績				
		目標										
	\+ -\-\-\-\	実績										
	達成指標	目標										
_		実績 上記の指標で定量的な設定が 困難な理由	2									
			平成29	年度 平月	成30年度		元年度	令和2年度				
事業		現計予算額	567,600	千円 567	,600千円	567,6	600千円	567,600千円				
実		支出済額	563,049	千円 564	,236千円	564,6	515千円	565,013千円				
績		繰越額	0千		0千円	0=	千円	0千円				
		差▲引	4,551=		364千円		5千円	2,587千円				
		執行率(%)	999		99%		99%	100%				
		人 一般職職員	2.0	Λ.	2.0人	2.	.0人	2.0人				
		件 再任用職員	0.0	Λ.	0.0人	0.	.0人	0.0人				
		費概算人件費	17, 582	千円 17,	570千円	17, 5	70千円	17,646千円				
		総事業費	580, 631	1千円 581	1,806千円 582,185千		185千円	582,659千円				
		増▲減	_	1,	175千円	379	9千円	474千円				
事業	本市が行う 必要性											
評価の視点	事業目的に 対する 有効性											
による点検	本事業の 効率性・ 類似性	法定事業のため、検証不可。										
• 検	市民等外部	□有 ■無										
証 •	意見を聴取 する仕組みと 反映状況	法定事業のため、実施している	:V \ ₀									
価	自己評価 及び 事業見直し の方向性	法令等に基づき、引き続き適正	に執行する。									

	課長		係長		秘書広報担当
本資料は、公正・適正に作成しました。		柴垣 涼		北川 博之	伊藤 絵理

f	計和2年度	1款 1項	1 目		所管区局•課	議会局秘書広報課	令和3年原					
	事業名	議会広報費			771日区内"味	成云河似音/公拟床	番号	3				
	実施根拠	法令等 □ その他 □	法律 [□ 条例 □	規則 具体的 名称							
事	事業の目的 (事業開始の 経緯)											
機要	具体的な 事業内容	た。 2 映像等広報事 横浜市会ダイジ 放映した。 3 インターネット中本会議、予決特、ネット中継をモニタ 4 議会周知用ポン定例会毎に年4[5 その他の広報(1)「市会のしおり」行した。 (2)新聞掲載は、議	回発行し、自 業 エスト(年4回 中継 、常任・特別 マー放映した スター ロ作成し、市 は、市会のし 会会日程等を)、「市会広報動 委員会等を生中 内公共施設やま 人み、傍聴、請属 広報するため、	画」、「横浜市会各会 継・録画中継で公開 E要鉄道駅及び市営2 頭・陳情及び議員の第 〒7回記事を掲載した	派新春語り初め」、「横落している。また、各区役所 とている。また、各区役所 交通等に掲出した。 「写真など、包括的に議	兵市会座談会 予 所において、本会記 会を解説するパン	フレットとして、年1回発				
		本事業は石記に 指標名(単		の、以降の記載 平成29年	を一部省略します。 庶宝績 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□ 法令に基づく0年度実績○ 令利	或務的経貨 11元年度実績 📗	□ 内部事務経費のみ 令和2年度実績				
		7日1宗12(5	目標 実績	一	及大順 一次3	0千及大順 下作	11九千及大根	7 和2 千及天根				
	法产比斯		実績									
	達成指揮		月標									
	達成指標		目標 実績									
	達成指標	上記の指標で定量	量的な設定な	ぶ議会の活動状	況や意向を踏まえて	事業の執行がなされる	ため。					
	達成指標	上記の指標で定量 困難な野	量的な設定な	議会の活動が			-	全和 2年度				
重	達成指標	困難な理	量的な設定が	平成29	年度 平原	艾30年度	介和元年度	令和2年度 101 134千円				
事業	達成指標	困難なり現計予算	量的な設定が 理由 章額	平成29 ² 86,729 ²	年度 平 原 千円 87,	艾30年度	冷和元年度 28,902千円	101,134千円				
業実	達成指標	困難なり 現計予算 支出済	量的な設定が 理由 章額 額	平成29 86,729 84,817	年度 平原 千円 87, 千円 82,	艾30年度	冷和元年度 28,902千円 05,759千円	101,134千円 97,789千円				
業		困難な知 現計予算 支出済 繰越客	量的な設定が 理由 章額 額	職会の活動が 平成29 : 86,729 ⁻ 84,817 ⁻ 0千月	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 ()	找30年度 名 261千円 1: 874千円 1· 9千円	冷和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円	101,134千円 97,789千円 0千円				
業実	予算額・	困難な野 現計予算 支出済 繰越客	量的な設定が 理由 章額 額 頃	職会の活動が 平成29 : 86,729- 84,817- 0千月 1,912-	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 (千円 4,3	支30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 0千円 287千円	令和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円				
業実	予算額・ 執行額、 事業費の	困難な野 現計予算 支出済 繰越客 差▲5 執行を	量的な設定が 理由 章額 額 頃 6 1	平成29: 86,729: 84,817: 0千F 1,912:1 98%	年度 平点 千円 87, 千円 82, 円 (千円 4,3	艾30年度	冷和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82%	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97%				
業実	予算額·執行額、	困難な野 現計予算 支出済 繰越額 差▲豆 執行率(量的な設定が 理由 算額 額 項 (5) (%) (%)	では、 では、	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 () 千円 4,3 () ()	找30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 95% 2 4.0人 2	6和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人				
業実	予算額・ 執行額、 事業費の	困難な野 現計予算 支出済 繰越8 差▲5 執行率(人 一般暗	量的な設定が 理由 算額 額 項 引 %) 塊職員 引職員	平成29: 86,729: 84,817: 0千 1,912: 98% 4.0/ 0.0/	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 () () () <th> X30年度</th> <th>6和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円 82% 4.5人 0.0人</th> <th>101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人</th>	X30年度	6和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円 82% 4.5人 0.0人	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人				
業実	予算額・ 執行額、 事業費の	 困難な事 現計予算 支出済 繰越額 差▲重 執行率(一般暗 再任用 概算人 	量的な設定が 里由 章額 額 項 引 (%) 战職員 日職員 、件費	では、 ・	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 () 「斤円 4,3 () () 千円 35,	X30年度	6和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円 82% 4.5人 0.0人	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円				
業実	予算額・ 執行額、 事業費の	田難な野 現計予算 支出済 繰越8 差▲5 執行率(人 一般 明 任用 費 概算人 総事業	量的な設定が 里由 章額 讀 預 引 96) 戦職員 日職員 大件費 長費	平成29: 86,729: 84,817: 0千 1,912: 98% 4.0/ 0.0/	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 () 千円 4,3 () () 千円 35, 千円 118,	支30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 9千円 887千円 95% 2 4.0人 0.0人 140千円 3 014千円 14	6和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人 0.0人 99,533千円 45,292千円	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円				
業実績	予算額・ 執行額、 事業費の	田難な野 現計予算 支出済 繰越を 差▲豆 執行率(一般稍 再任用 概算人 総事業	量的な設定が 理由 章額 額 項 同 同 の の の の の の の の の の の の の	では、	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 6 () イー 35, 千円 118, ▲ 1	X30年度	6和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円				
業実績事業評	予算額・ 執行額、 事業費の	困難な野 現計予算 支出済 繰越都 差▲雪 執行率(人 一般稍 件費 概算人 総事業 増▲別 議会の活動状況を	量的な設定が 電額 額 額 個 間 の の の の の の の の の の の の の	職会の活動が 平成29 : 86,729 ⁻ 84,817 ⁻ 0千月 1,912 ⁻ 98% 4.0) 0.0, 35,164 119,981 一	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 (千円 4,5 ・	成30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 9千円 2: 95% 4:0人 0.0人 140千円 014千円 1: ,967千円 2: 上で、議会への関心と理	帝和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円 7,278千円	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円				
業実績事業評価の視	予算額・ 執行額、 事業費の 推移	田難な野 現計予算 支出済 繰越整 差▲重 執行率(一般暗 一般暗 概算人 総事業 増▲が 議会の活動状況を で、議会や市政へ がある。	量的な設定が 理由 章額 額 額 項 引 %))))))))	職会の活動が 平成29: 86,729: 84,817: 0千! 1,912: 98% 4.0) 0.0) 35,164 119,981 一体を通して市民に すために必要で	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 (7) 千円 4,3 千円 35, 千円 118, ▲ 1 こ広くお知らせするこ ある。また、市民の議	成30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 87千円 2 95% 4.0人 0.0人 140千円 1440千円 3 014千円 1: ,967千円 2 とで、議会への関心と理会を知る権利を保障する	令和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人 0.0人 99,533千円 45,292千円 17,278千円	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円 10,402千円				
業実績事業評価の視点によ	予執事権 算額額の 第前の 事対有事率似 本効類 本効類	困難な野 支出済 繰越落 差▲豆 執行率(一般暗 一般暗 概事業 議会の活動状況を で、議会や市政へ がある。 市会の活動状況を での過程等の透明	量的な設定が 理由 算額 額 項 引 (%)) 員 は職員 大費 で が 様々なを促 と、の参 が 様々な 様々な 様々な 様々な は で は は は は は は は く く く の く の く り と り と り と り と り と り と り と り と り と り	平成29 : 86,729 86,729 84,817 0千 1,912 98% 4.0.0 35,164 119,981 一体を通して市民にすために必要で	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 「 118, 千円 35, 千円 118, ▲ 1 こ広くお知らせするこ。 ある。また、市民の議	成30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 87千円 2 95% 4.0人 0.0人 140千円 1440千円 3 014千円 1: ,967千円 2 とで、議会への関心と理会を知る権利を保障する	帝和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円 17,278千円 21解を深め、より身うるものとして、正確 例等の重要な施策	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円 10,402千円 丘に感じていただくこと な情報を提供する必要				
業実績事業評価の視点による点	予執事権 第領領表の 第有事権 本の 事対有事率似等 市の 本効類氏 市の 本効類に 市の 本効類に 市の 本効類に でして でして でして でして でして でして でして でして	田難な野 支出済 繰越落 差▲豆 執行率(一般暗 一般暗 概事業 増▲が 議会の活動状況をで、議るや市政へがある。 市会の活動状況をでの過程等の透明 事業手法や内部事	量的な設定が 理由 算額 額 項 引 (%)) 員 は職員 大費 で が 様々なを促 と、の参 が 様々な 様々な 様々な 様々な は で は は は は は は は く く く の く の く り と り と り と り と り と り と り と り と り と り	平成29 : 86,729 86,729 84,817 0千 1,912 98% 4.0.0 35,164 119,981 一体を通して市民にすために必要で	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 「 118, 千円 35, 千円 118, ▲ 1 こ広くお知らせするこ。 ある。また、市民の議	x30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 95% 2 4.0人 0.0人 140千円 3 014千円 1- -967千円 2 とで、議会への関心と理会を知る権利を保障する とで、市政のしくみや条	帝和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円 17,278千円 21解を深め、より身うるものとして、正確 例等の重要な施策	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円 10,402千円 丘に感じていただくこと な情報を提供する必要				
業実績 事業評価の視点による点検・検	予執事 第行業推 を 前、の 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次 第一次	田難な野 東出済 秦越慈 差▲雪 執行率(一般暗 一般暗 横事 (本) 一般暗 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音 一般音	量的な設定な 理由 章額 額項 引 96) 戦職員 大性費 域 大性費 で 大性の表が 大体で 大体で 大体で 大体で 大体で 大体で 大体で 大体で	職会の活動が 平成29 : 86,729 ⁻ 84,817 ⁻ 0千月 1,912 ⁻ 98% 4.07 0.07 35,164 119,981 一体を通して市民にすために必要で 体を通して市民にないる。	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 「 118, 千円 35, 千円 118, ▲ 1 こ広くお知らせするこ。 ある。また、市民の議	域30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 95円 2: 95% 4:0人 0.0人 140千円 140千円 16 ,967千円 2 上で、議会への関心と理会を知る権利を保障する とで、市政のしくみや条 か果的な手法を検討して	帝和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 33,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円 17,278千円 21解を深め、より身うるものとして、正確 例等の重要な施策	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円 10,402千円 丘に感じていただくこと な情報を提供する必要				
業実績事業評価の視点による点検・	予執事 第行業推 有が要 前の で で で で で で で で で で で で で で で で で で	田難な野 東出済 操越落 差▲重 執行率(人件費 一般暗 概事 業 増▲が 議会の活動状況をで、ある。 市会の過程等の透明 事業手法や内部事 ■ 有 ヨコハマ議会だより	量的な設定が 計算額 額項 引 %の 動間職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職	ではます。 では	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 「一円 4,3 「一円 35, 千円 35, 千円 118, ▲ 1 こ広くお知らせするこ。 ある。また、市民の議 こ広くお知らせするこ。 業のより効率的かつな 薬集しており、紙面づく	域30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 95円 2: 95% 4:0人 0.0人 140千円 140千円 16 ,967千円 2 上で、議会への関心と理会を知る権利を保障する とで、市政のしくみや条 か果的な手法を検討して	帝和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円 17,278千円 21解を深め、より身う るものとして、正確 例等の重要な施策	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円 10,402千円 丘に感じていただくこと な情報を提供する必要				
事業評価の視点による点検・検証・評	予執事 本 事 本効類民見ない 百多葉 第行業推 市必 業対有 事率似等を組状 評び 同 る 大 で と で で で で で で で で で で で で で で で で で	田難な野 東出済 操越落 差▲重 執行率(人件費 一般暗 概事 業 増▲が 議会の活動状況をで、ある。 市会の過程等の透明 事業手法や内部事 ■ 有 ヨコハマ議会だより	量的な設定が 計算額 額項 引 %の 動間職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職職	ではます。 では	年度 平原 千円 87, 千円 82, 円 4,3 「一円 4,3 「一円 35, 千円 35, 千円 118, ▲ 1 こ広くお知らせするこ。 ある。また、市民の議 こ広くお知らせするこ。 業のより効率的かつな 薬集しており、紙面づく	x30年度 名 261千円 1: 874千円 1: 95% 4.0人 0.0人 140千円 140千円 140千円 次967千円 2 とで、議会への関心と理会を知る権利を保障する。 とで、市政のしくみや条 か果的な手法を検討している。 であり、引き続き実施す	帝和元年度 28,902千円 05,759千円 0千円 23,143千円 82% 4.5人 0.0人 9,533千円 45,292千円 17,278千円 21解を深め、より身う るものとして、正確 例等の重要な施策	101,134千円 97,789千円 0千円 3,345千円 97% 6.0人 1.0人 57,905千円 155,694千円 10,402千円 丘に感じていただくこと な情報を提供する必要				

令和2年度 事業名		1 款 1 項 1 目 議会総務費				所管図	区局∙課	議会局総務課		令和3年 事業評価 番号		1 - 1 - 1	
	実施根拠	法令等その他	法	律 🗆	条例 □	規則	具体的 名称						
事業概	事業の目的 (事業開始の 経緯)												
要	具体的な 事業内容		会派控室等の会計年度任用職員配置、議会局運営に必要な需用費や委託業務の実施等。										
		本事業	は右記に該	当するため	、以降の記載	を一部省略	とします。	□ 法令に	基づく義務	的経費	■ 内部	『事務経費のみ	
		指	旨標名(単位	<u>ነ</u>)	平成29年	度実績	平成30)年度実績	令和元	年度実績	令₹	口2年度実績	
				目標									
				実績									
	達成指標			目標									
				実績			<u> </u>						
		上記の指	煙で定量的	か設定が									
		上記の指標で定量的な設定が 困難な理由											
		7,42 57.31.7			平成29	 年度	平成	 30年度	令和]元年度	4	 令和2年度	
事業		現計予算額			81,082			596千円		979千円		09,829千円	
業実		支出済額			76,870	<u>千円</u>		76千円		691千円		7,660千円	
績		繰越額		0千月			千円		千円		0千円		
		差▲引		4,212=			20千円		88千円	1:	2,169千円		
		執行率(%)		95%		1	95%		95%		89%		
		án. Táb Táb 😑		8.4人			8.4人		7.9人		7.4人		
		人 一般		1.0人			1.0人		1.0人		1.0人		
		費概算人件費		78,626千円			78, 588千円		74, 196千円		0, 257千円		
		総事業費			155, 496千円			160, 564千円		176, 887千円		67,917千円	
		増▲減			155, 490 Fi			68千円	16,323千円			8,970千円	
			4 = 1/3				0, 0	00 1	10,	320]		0, 510 1	
事業	本市が行う 必要性												
評価の視点	事業目的に 対する 有効性												
による点検	本事業の 効率性・ 類似性	当該事業は、会計年度任用職員人件費や議会運営に不可欠な義務的経費で占められており、他事業との類似性はない。											
• 検 証 •	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	口有		無									
評価	自己評価 及び 事業見直し の方向性	令和2年度	度の執行状	況を踏まえ、	毎月の予算す	外行管理を	行うなかで、	. コスト削減や-	予算の有効	活用を図る。			
							1 1		1			-	
本	本資料は、公正・適正に作成しました。						課長	野誠	係長 海沼	正太郎	语	庶務係 島橋 茉奈	

令和2年度 事業名		1 款 1 項 1 目 会議·委員会等運営費		所管区局·課		議会局議事課		令和3 ⁴ 事業評値 番号	画書	1 - 1 - 1 5		
	実施根拠	法令等 ■ 法令 その他 □	律 ■	条例 ■	規則	具体的 名称	地方自治法、 浜市会委員会		会基本条例、	横浜市会	会会議規則、横	
事業概	事業の目的 (事業開始の 経緯)	地方自治法等に基づく横浜市会の本会議・委員会等を運営する。 議会の国際交流を推進する。										
要	具体的な 事業内容	*************************************										
				、以降の記載	を一部省略			基づく義務			部事務経費のみ	
		指標名(単位	<u>ኒ</u>)	平成29年	度実績	平成3	0年度実績	令和元	:年度実績	令	和2年度実績	
			目標									
			実績									
	達成指標		目標									
			実績		••••••							
		上記の指標で定量的 困難な理由		本会議、委員	会等の議会	会活動の状	況に応じて事業	業の執行がス	なされるため。			
事業実				平成29	年度	平月	30年度	令和	1元年度		令和2年度	
		現計予算額		125,072	千円	100,	769千円	91,2	76千円	1	17,862千円	
		支出済額		83,624	千円	62,102千円		57,0	06千円	:	33,525千円	
績		繰越額		0千月	円	C	千円	0	千円		0千円	
		差▲引		41,448千円		38,667千円		34,270千円		8	34,337千円	
		執行率(%)		67%		62%		62%			28%	
		人 一般職職員		18.0人		18.0人		18.0人			18.0人	
		件再任用職員		1.0人		1.0人		1.0人			1.0人	
		費概算人件費		163, 020)千円	162, 924千		924千円 162,924千円		1	63,781千円	
		総事業費		246, 644			026千円 219,		930千円	1	97,306千円	
				_		▲ 21	,618千円	A 5,	096千円	A	22,624千円	
事業評	本市が行う 必要性	法定事業を含め、本意を、議会の国際交流										
価の視点	事業目的に 対する 有効性	事業目的に対して有効である。										
による点検	本事業の 効率性・ 類似性	本会議・委員会等の記録に係る経費等について、過去の実績に基づき必要な数量等を見直すことにより事務コストを削減した。 委員会視察及び議員派遣による海外派遣に係る経費等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、視察等の実施回数が 当初の実施見込みを下回ったため、例年に比べて予算執行額が減少した。 また、議会の国際交流関係事業については類似事業はない。当該事業については予算内での適切な執行を行った。										
• 	市民等外部	□有■	無									
検 証 •	意見を聴取 する仕組みと 反映状況	法定事業である。										
評 価 —	自己評価 及び 事業見直し の方向性	過年度の執行状況等 また、市庁舎移転を格										

	課長	係長	委員会担当
本資料は、公正・適正に作成しました。	本多	修福岡英ス	大 青鹿 達也